

地域と共生し、お客様に「ヨロコビ」を提供するマルハン 加熱式フロアで紙巻きたばこユーザーの喫煙問題を解決

『スマートミニ』



遊技台から近く、使用状況を確認できることから、好きなタイミングで安心して喫煙できる「スマートミニ」

『マルハンSLOT仙台一番町店』は、11月1日にグランドオープンした総設置台数399台のパチスロ専門店。飲食店やカラオケ店などが入居する複合施設の地下一階にオープンした。

同店はマルハン北日本カンパニー初のパチスロ専門店。店内は遊技しながら加熱式たばこが喫煙可能だが、紙巻きたばこユーザーも過ごしやすい遊技環境を整えるため導入したのがエルゴジャパンの『スマートミニ』だった。

「できる限り遊技機を設置した店内です。喫煙スペースをどう確保するかが問題でした。ですが『スマートミニ』なら、

ちょうど空いたスペースに設置することができました。通路幅も確保できるので最適な製品でした」と話すのは工藤秀太店長だ。

設置したのは『スマートミニ』。工藤店長は一人用にした理由をこう語る。

「一本だけ吸って、すぐに席に戻られる方が多いので滞在時間が短いです。時間がかからない分、お客様は遊技時間を確保できますし、長く遊技していただけるのは店舗としてもありがたいです。複数人用だと、お連れ様と話し込んで5〜10分くらい離れることもあります。誰かが先にいると入りにくいと思いますし、特に女性のお客様は少し不安な気持ちになるかもしれません。一人用なら、気軽に安心して入ることができます」

遊技台から近いため使用状況も確認でき、好きなタイミングで喫煙可能。トイレまでの動線にも設置しているため、離席したついでに喫煙するお客様も多い。また今の季節はインフルエンザが流行する時期。感染対策としても一人用の喫煙ブースは安心して利用できる。

また地下一階にある店舗の出入り口前、建物の共有部にも『スマートミニ』を設置。来店客はもちろん、地域の人も利用できる場所だ。「店舗周辺には喫煙場所がありません。共有部に設置している『スマートミニ』は来店されるお客様だけでなく、このビルを利用する方や近くを通る方に気軽にご利用い



共有部に設置することで、新規客の取り込みも可能になる

ただればと考えています。その中で『少しマルハンに寄ってみようかな』という新規のお客様が来店してくださると嬉しいですね」

『スマートミニ』を設置して紙巻きたばこユーザーも過ごしやすい遊技環境を整えるだけでなく、共有部を有効活用することで地域の喫煙者にとっても喜ばれる場所を提供。同店の目標である「スロッターの聖地」を目指し、新規客も取り込んでいく。

「自店の客層は若者とサラリーマンが多く、喫煙率が高いです。ピーク時は常に入力替わるほど『スマートミニ』の使用率も高いので、加熱式と紙巻きたばこユーザーがともに快適に過ごせています。また飲食店に行く前やカラオケで楽しんだ後など、喫煙するついでに足を運んでもらえる環境も整えることができたのも、『スマートミニ』があっただけだと思います」